



# 図書館から こんな本を

Vol.258 2025/9/3  
甲南女子中高・図書館



残暑が厳しい中、2学期が始まりました。涼しい部屋で読書、夏の疲れに効きますよ！

## 『頭のいい人だけが知っている世界の見方』

西岡壱誠 著 141.5/N



「なぜ青汁は緑なのか」、「国産牛と和牛の違いは何か」…。あなたは考えたことがあるでしょうか？  
様々なことに興味関心と疑問を持ち、追求する習慣が身につければ、より楽しく面白い世界が待っていますよ！

## 『17歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。』

びーやま 著 376.8/B



「大学受験」は、大人になった今思い返してみても、一つの大きな分岐点だったと思います。  
多少耳を伏せたくなる言葉もあると思いますが、少しだけ先輩の声に耳を傾けるように、この本を読んでみてはいかがでしょうか？

## 『睡眠文化論』

豊田由貴夫 睡眠文化研究会 編 498.36/T



スマホや電子機器類の影響で、眠りの質が悪い現代人。眠りや寝具の歴史、夢の考察など…。  
「眠り」に関するアレコレがたくさん書かれていて、興味深く読み進めることができます。

## 『ホットケーキミックスの絶品おやつ』

ムラヨシマサユキ 黒木優子 著 596.65/M



楽にお菓子を作りたいときの救世主・ホットケーキミックス。スコーンやクッキーなど定番レシピの多様なアレンジに、「どれを作ろうか？」と目移りしてしまいます。  
さらに、お餅やかりんとうまで作れるというから驚き！ホットケーキミックスの可能性は無限大です。

## 『鴨川ランナー』

グレゴリー・ケズナジャット 著 913.6/Khe



この作品は、京都文学賞を受賞しています。  
外国から京都に来た青年の日常、その中で生きる不安や葛藤などを独特的な文章で書いています。  
また、最近「該当なし」で話題になった、芥川賞。その候補作に著書「トラジェクトリー」が選出されました。

## 『メルカリで知らん子の絵を買う』

藤原麻里菜 著 914.6/F



無駄なことはしない、時間をかけない、素早いことが良しとされる昨今。著者は、発明家・文筆家であり、「無駄なものの発明家」。一見、何のために？何の意味がある？と思うことも、「ただ楽しいから。」と挑戦できる心をいつまでも持っていたいと思います。

## 『和菓子の京都 増補版』

川端道喜 著 080/イ/2066



「御粽司」は、京都で500年の歴史を持つ老舗和菓子屋。川端道喜は、店名にもなっていて代々受け継がれていく名前であり、著者は15代目。ルーツを辿ったり職人さんの思いを馳せたりすることで、より味わって食べることができます。

## 『少年とクスノキ』

東野圭吾 文 よしだるみ 絵 P91/Y



将来が不安で泣いてばかりいる少年。少年は、未来を見てくれるという「クスノキの女神」に会いに行きます。そこで少年が見た未来の姿とは。  
不安定な情勢や度重なる天災に脅かされる昨今。輝かしい将来や理想を思い描くことが難しい現代社会で、何が大切か改めて考えることができます。  
東野圭吾の人気シリーズを絵本にした作品です。



# 今月の新着から



## ■1 哲学

『ロジクリ思考：本当に頭のいい人はロジカル×クリエイティブで考える!』 川上徹也 著 141.5/K

## ■2 歴史

『見て楽しめる！せかいの国旗』 中妻雅彦監修 288.9/M

## ■3 社会科学

『イラストで見る台湾屋台と露店の図鑑：日用品から懐かしい味や遊びまで』 鄭開翔絵 文 出雲阿里 訳 384.37/J

## ■4 自然科学

『ウソみたいな動物の話を大学の先生に解説してもらいました。』 小林朋道 著 481.78/K

## ■5 技術

『エビとトマトで持続可能な食料供給：アクアポニックスが地球をすくう!』 石川伸一 監修 588/W

## ■6 産業

『ロイヤルホストで夜まで語りたい』 朝日新聞出版 編 673.97/A

## ■7 芸術

『世界のスゴイ彫刻：意味がわかるとおもしろい!』 佐藤晃子 著 710/S

## ■8 言語

『一生忘れられない言葉図鑑：気持ちを言語化する美しい詩と写真』 浅夏レイ 著 814/A

### 秋にピッタリな物語をご紹介 『どんぐりと山猫』宮沢賢治 作



配架場所:個人全集コーナー 請求記号:918.68/M/1  
ある秋の土曜日、一郎少年のもとに、山猫から下手くそで間違いだらけの文で書かれた怪しい葉書が届きます。面倒な裁判があるので、手伝ってほしいという内容です。一郎はワクワクしながら山猫を探しに山へ入ります。山猫が助けを求めるほどの面倒な裁判とは？



## ■9 文学

『百一 = Hyakuichi』 こうの史代 著 911.147/K

『あの子と〇（オー）』 万城目学 著 913.6/Maki

『みんなこわい話が大好き』

尾ハ原ジュージ 著 913.6/0ya

『保健室のアン・ウニヨン先生』 チョン・セラン 著 斎藤真理子 訳 929.13/C



## ■文庫

『また次の春へ』

重松清 著 913.6/S

『スクイッド荘の殺人』

東川篤哉 著 913.6/H

『卵をめぐる祖父の戦争』

デイヴィッド・ベニオフ 著 田口俊樹 訳 933.7/B

## ■新書

『AIを美学する：なぜ人工知能は「不気味」なのか』 吉岡洋 著 007.13/Y

『意識の不思議』

渡辺正峰 著 081.9/T/494



### 9月の旬な食べ物紹介



野菜…かぼちゃ、さつまいも、里芋、しいたけ、しめじ、チンゲン菜、舞茸、松茸、みょうが

果物…いちじく、栗、かぼす、すだち、梨、ぶどう

魚介…さんま、さけ、いわし、かつお、しらす、太刀魚、いくら、昆布

行事食…月見だんご(お月見)、おはぎ(お彼岸)

### 旬の食べ物はいい事づくし！

食べ物には一年でもっとも栄養たくさんで美味しい時期の『旬（しゅん）』があります。

『旬』とは、自然の中で育った野菜果物の収穫時期や、魚介類が多く獲れる季節のことです。

食べ物・魚によって時期はそれぞれです。

一番おいしくて、栄養もたっぷりな旬のものを食べて、自然と四季の変化を感じてみましょう。

